



基本項目記入数 25

チャレンジ項目記入数 13

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		業務作業過程で出た産業廃棄物等は、専門業者に依頼し、適切な処理を行っている			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		毎月のエネルギー使用量を把握し、削減に取り組んでいる 蛍光灯をLEDに変更等、使用量の削減に尽力している							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		CO2排出量を把握し、削減に取り組んでいる 古い公用車からハイブリッド車など燃費の良い車へ適時変更している		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		事業所及び従業員のエコバッグの活用、レジ袋の削減に取り組んでいる レジ袋の再利用を行い環境に配慮した工夫を行っている						6.6								14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		ペーパーレス化、再生用紙の利用及び、裏紙の再利用を行っている リサイクル業者へ古紙や資源を持ち込み、リサイクルへ取り組んでいる									9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		水源涵養機能を維持するために、年に1回の植樹活動に参加している 節水のために節水用のシャワーヘッドに交換し水道を使用している		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17			
	28	【環境に配慮した製品等】 環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		ドッジファイルなど環境仕様の製品(エコマーク認定品)を購入し使用している										9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		社内でお弁当を注文する際、小盛りを選択できるお店を利用しフードロスの削減を行っている 食品が消費できない量の場合、従業員内で配布し、食品ロス削減に取り組んでいる	1	2					6.4							12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		オフィスの壁面緑化や植栽へ取り組んでいる														11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4				11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 "伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6				9.4				11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		植樹会・草刈りへ参加(年1回)参加している						6.1 6.3 6.6								11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		プラスチックごみの削減の為にマイボトルの持参などに取り組んでいる														12.2 12.5		14				
35	【環境に配慮した交通手段】 電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		通勤時において自転車やバスを利用している										9.4				11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4				11.6 11.a	12.8	13				17.2	

